



2019年6月25日

各 位

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 村田 善郎
 (コード番号 8233 東証第一部)
 問合せ先 広報・IR室長 園田 早苗
 (TEL. 03-3211-4111)

海外連結子会社の清算に関するお知らせ

当社は、2019年6月25日開催の取締役会において、当社の海外連結子会社である上海高島屋百貨有限公司が家主との間で家賃減額交渉を進めてまいりましたが交渉が不成立となったことを受け、2019年8月25日予定の上海高島屋百貨有限公司の株主会での清算決議を前提に、同社の清算を決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 解散および清算に至った経緯

上海高島屋百貨有限公司は上海市長寧区において百貨店「上海高島屋」を運営しておりました。「上海高島屋」は開業以来、本格的な日本型百貨店の実現を目指し現地顧客の支持を拡大してまいりましたが、売上は伸ばすものの、業態間競争の激化や隣地商業開発の遅延と変更により、当初計画には及ばず黒字化に至っておりませんでした。こうした中、昨年来の米中貿易摩擦の長期化による経済の停滞、個人消費の落ち込み等により、これ以上の事業改善が見込めないことから、当該子会社の解散および清算計画を決議いたしました。これに伴い「上海高島屋」は2019年8月25日をもって閉店する予定です。

2. 解散する子会社の概要

| | | |
|-----|----------------------------|---|
| (1) | 名 称 | 上海高島屋百貨有限公司 |
| (2) | 所 在 地 | 中華人民共和国上海市長寧区虹橋路 1438 号 |
| (3) | 代表者の役職・氏名 | 董事長 小森 智明 |
| (4) | 事 業 内 容 | 百貨店業 |
| (5) | 資 本 金 | 4億9,000万人民元 |
| (6) | 設 立 年 月 日 | 2009年2月24日 |
| (7) | 株 主 構 成 | タカシマヤシンガポール LTD. 66% 株式会社高島屋 17% 東神開発株式会社 17% |
| (8) | 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係 | 資 本 関 係 当社は同社の発行株式の17%を保有しております。 |
| | | 人 的 関 係 当社専務取締役、顧問、執行役員各1名が同社董事を兼務しております。 |
| | | 取 引 関 係 商標使用料及び業務指導料、運転資金の貸付金 |
| | | 関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況 当社の連結子会社であり、関連当事者へ該当いたします。 |

| (9) 最近3年間の経営成績及び財政状態 | | 単位：千人民元 (円相当額 (百万円)) | | |
|----------------------|-------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| | | 決算期 | 2017年2月期 | 2018年2月期 |
| 純 | 資 産 | 59,287 (993) | △126,427 (△ 2,185) | △218,270 (△ 3,527) |
| 総 | 資 産 | 890,409 (14,923) | 725,113 (12,537) | 276,099 (4,461) |
| 営 | 業 収 益 | [総額] 386,162 (6,333) | [総額] 421,326 (7,002) | [純額] 191,483 (3,186) |
| 営 | 業 利 益 | △59,762 (△ 980) | △68,600 (△ 1,140) | △52,072 (△ 866) |
| 経 | 常 利 益 | △96,913 (△ 1,589) | △88,049 (△ 1,463) | △91,823 (△ 1,527) |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | △97,923 (△ 1,605) | △185,714 (△ 3,086) | △91,842 (△ 1,528) |

※円相当額は、各決算期における決算数値を記載しております。(換算レート：1人民元 16.16円～17.29円)
またIFRSに準拠し連結しているため、2019年2月期より、消化仕入取引について、売上高及び売上原価のいずれにも取引額を計上する[総額]表示より、売上総利益相当額のみ売上高に計上する[純額]表示に変更しております。

3. 清算の日程

2019年8月25日 上海高島屋百貨有限公司臨時株主会において解散および清算決議

2019年8月25日 「上海高島屋」閉店

※現地の法律に従い必要な手続きが完了次第清算終了となる予定であり、その時期は2021年頃までを想定しております。

4. 今後の見通し

当該子会社の解散および清算に伴い、今後20～30億円程度の損失が発生する可能性があります。2020年2月期連結業績への影響については現在精査中であり、確定次第速やかに公表いたします。また、高島屋単体では当該子会社向け貸付金の一部または全額が回収不能となる可能性もありますが、連結決算において当該貸付金は相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以 上